

2023 年 6 月 9 日
日本船主協会 企画部広報室

海運の重要性を学校教育の場で
～新潟にて海事施設の見学会を開催～

日本船主協会は、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性を学校教育において取り上げていただくよう、教育関係者に対し商船やコンテナターミナル等海事施設の見学会や出前授業等を実施しております。

今般、北陸信越海事広報協会等とともに、新潟国際貿易ターミナルの協力を得て、6月7日（水）に新潟市立南浜中学校2年生と教員の約40名を対象にコンテナターミナルの見学会を開催しましたのでその模様をお知らせします。

【見学会概要】

はじめに、新潟国際貿易ターミナルの担当者より、新潟東港の概要（貨物の取扱量、品目や輸出入金額等）、どのような航路で同港に貨物が輸入されるか、ならびにガントリークレーン等荷役機器等について、動画も交えて説明がありました。



その後、当協会より日本の貿易量の99%以上を海運が担っていることや、海運が運ぶ貨物を受け入れる港湾が、私たちの暮らしに密接に関わっており重要な役割を果たしていること等を説明するとともに、将来は海運や港湾等海事産業の仲間になることを期待する旨メッセージを伝えました。

説明後、参加者は社屋屋上よりコンテナターミナルを見学、蔵置された多くのコンテナや荷役の様子に興味深く見ており、生徒からは「普段は見る事ができない施設を見学でき、貴重な経験となった」「街で見るコンテナがどのようにトラックに積み込まれているか知れて勉強になった」といった声が聞かれました。



最後に、同港担当者の説明を聞きながらコンテナターミナルの構内を見学しました。コンテナ船に巨大なガントリークレーンで貨物を積み込む迫力ある様子を間近で見る等、普段立ち入ることができないエリアで有意義な体験をすることができました。

当協会は引き続き、日々の暮らしを支える海運をはじめとする海事産業がより教育に取り入れられるよう、各種活動に取り組んでまいります。

以上